

# 平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 330

政策体系	14	事業分類	ソフト事業	所管部局	
会計	一般会計	科目	4. 衛生費 - 1. 保健衛 - 2. 予防費 現年		
事業名	予防接種事業				
細事業名	予防接種事業				
評価表作成者				市民福祉部 保健医療課	疋田 ミツル

## 1. 事業の概要

予防接種法による定期の予防接種を実施した。  
 （三種混合・二種混合・麻しん風しん混合・ポリオ・BCG・日本脳炎・高齢者インフルエンザ）  
 また、任意予防接種であるヒブ・肺炎球菌・子宮頸がんワクチンについてH23.1～公費負担を行った。  
 平成22年度は季節性及び新型インフルエンザワクチン接種者の低所得者に対する費用免除事業を行った。

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

予防接種を受けやすい体制を確立し、感染症を予防し、健康を保持し、安心して暮らせるまちづくりをする。-医・食・住の充実と高齢者や障がいのある人の自立を支援する。

### ②事業を実施する必要性

予防接種法に基づき、感染症の蔓延を防ぐため。

## 3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	31,924	38,294	36,022	58,332	79,817	80,000	80,789
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	271	239	231	163	251	300	300
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	332	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	721	7,102	14,000	14,000
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	31,924	38,294	34,969	51,230	65,817	66,000
職員等の従事人員	人/年	—	0.57	1.20	1.82			
人件費	千円	—	3,587	7,469	11,873			
事業費総額	千円	—	41,642	43,259	70,042			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

個別各予防接種医療機関委託	51,185,927円
集団予防接種実施費用	7,146,573円

## 5. 事業結果の概要

各予防接種人数（率）等	
BCG	249人（100%）
3種混合	946人（94.0%）
2種混合	319人（94.3%）
MR1期	230人（96.6%）
MR2期	223人（94.1%）
MR3期	288人（97.3%）
MR4期	343人（93.7%）
ポリオ	478人（95.6%）
日脳1期	1,140人（91.6%）
日脳2期	28人（8.8%）
ヒブ	259人（35.9%）（平成23年1月より公費負担開始）
肺炎球菌	270人（26.7%）（ // ）

子宮頸がん	252人 (35.9%)	(	〃	)
新型インフルエンザ	65歳以上	6,880人		
	65歳未満	374人	費用助成	

## 6. 活動の詳細

### 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

予防接種制度の変更があり、市民にわかりにくい状況にある。更に啓発・相談等、周知徹底を図りたい。

#### 【参考】過年度の評価

##### ■平成22年度の所属長評価

医師会の協力により、新型インフルエンザワクチン接種の集団接種を行い、市民の要望に応えるとともに、不安解消に努めることができた。また、低所得者の費用免除も行った。

##### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
予防接種未受診者対策について協議し、学校、船井医師会との連携を密に行った。
- ②当該事業のアピール事項  
当市のMR 予防接種接種率は京都府内でも上位を占めている。集団予防接種実施会場が市内四ヶ所の保健センター実施により、市民の接種機会が増加した。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
幸い、予防接種副反応等による事故発生はないが、引き続き慎重な業務遂行を行いたい。